



「きりの子バザール」 今年は大学の方々にも来ていただきました。
来年は地域の方々にも来て見て買っていただきたいです。

200円は・・・

どれにしようかなあ！



小学部

この販売会は、小学部の児童も買い物を経験できる学習機会の1つです。ワクワクしながら当日を迎え、いざお店を巡ると、予定外の品物にも心を揺さぶられ、悩みながら買い物する姿がとても微笑ましいです。計画を変更して買ったり、初志貫徹で買ったりと大満足のバザールでした。



中学部

一年間、作業学習で仲間と協力し丁寧に作ってきた陶芸皿や革製品を保護者のみなさんや小学部の後輩たち、高等部の先輩たちに販売しました。販売の準備はもちろんのこと、接客方法についても学び練習をする中で振り返りを行い、よりよい接客になるよう取り組みました。当日は大勢のお客様にお越しいただき、どの生徒も自分の役割を果たそうと張り切って販売活動に取り組むことができました。



今回の成功を自信としながら、更なるステップアップを目指してほしいと思います。

高等部

今年のきりの子バザールは、大学に案内チラシを配布し、掲示板での宣伝もしながら、久しぶりに外部のお客さんを招いた対面販売ができました。実行委員会の高等部3年生を中心に、元気よく大きな声で販売活動を行うことができ、多くのお客様が来場してくれたおかげで大盛況でした。お客さんの喜んでくれる顔を見て、次への大きな励みになりました。



3年前から始まった改修工事が令和7年2月末に、ほぼ完成します。改修中はプレハブ校舎での学習活動など、大きな環境の変化がありましたが、様々な工夫のもと、笑顔いっぱい、生き生きと学校生活を送ることができました。

また、本年度も、実習生をはじめとした大学生とのかかわり、他校の同世代の仲間との交流活動、地域の方々とのボッチャなどの活動を通じた交流など、人とのつながり、広がりのある活動を様々実施することができました。

これからも、人々とのふれあいを大切に、子ども達の輝きを多くの皆さんに知っていただきたいと思っています。



きりの華24

Kiri-no-ka

第12号
2025年3月発行

山梨大学教育学部附属
幼稚園・小学校
中学校・特別支援学校

幼稚園

幼稚園の門の上では紅梅がほころび、春の訪れを知らせてくれています。進級、入学に向っていくこの時期、子ども達は、それぞれに「大きくなること」に期待をふくらませながら、ぐんぐん成長していく様子がうかがえます。

さて、本年度、山梨大学教育学部附属幼稚園は、創立80周年を迎えました。園児、保護者をはじめ、地域の皆様方のご理解、ご協力が、本園の歴史を支えてくださっていることを感じております。

創立80周年記念行事としての取り組みをご紹介します。

「ASOBALL」プロジェクト 12月16日(月)

日本ソフトボール協会のご協力を得て、元オリンピック、ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子先生をお迎えしました。子ども達は宇津木監督のご指導の下、園庭で楽しく体を動かし、年長児は、バッティング用のコーンに乗せたボールを打って出塁するゲームも楽しみました。お礼に年長児が折り紙で飾った手紙を渡し、宇津木監督からは、園児一人一人に記念品を、園には色紙とサインボールをプレゼントしていただきました。晴れ渡った冬空に子どもたちの笑顔と元気な声があふれていました。



80周年お祝の会・記念コンサート 2月28日(金)

在園児と保護者、園の職員が遊戯室に集まり、「幼稚園が80歳になったお祝い」をしました。園から80周年の記念誌と附属幼稚園のイラストが入ったハンカチを全園児に配布しました。山梨大学の池山洋子先生のステキなピアノコンサートでは、歌や手拍子で参加し、一緒に楽しんだ子ども達。記念の年に友達やおうちの人とお祝いをし、共に喜びを感じたことは、きっとそれぞれの心に残ってくれることでしょう。



本園では、今後も子ども達がこの幼児期に「生きる力」の基礎を育み、健やかに成長していけるよう、職員一同、努力を重ねて参りたいと考えております。引き続き、ご支援いただけますよう、よろしくお願いいたします。

～附属幼稚園園舎改修工事のお知らせ～



令和7年度に文部科学省予算による改修工事が決定し、今後、仮設園舎の設置、現園舎の改修が予定されています。近隣の皆さまには、詳しい日程等が決まり次第、お知らせいたします。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

小学校



本校には「研究実証学校」「教育実習学校」「現職教育学校」としての使命があります。次代を担う教員を養成し、本校の研究や実践を公立学校等の参考にさせていただくように日夜努めています。本号では、そのような本校の任務の一端を紹介いたします。

山梨大学教育学部と附属学校園との連携事業・地域支援

大学、教育学部、附属学校園が連携して各種のワーキンググループ（以下「WG」）等を組織して、様々な事業や地域支援に取り組んでいます。

ICT教育推進WG

昨年度、ICTを活用した山梨大学附属学校園の教育モデル（実践事例集）の作成に取り組み、教育学部のHPに掲載しました。小学校では全教員の授業実践が閲覧できます。今年度は、その具体的な姿として、小学校において公開授業を開催しました。授業は1月24日(金)に2年3組で行われました。当日は大勢の教育関係者の皆様にご参加いただき、子供たちのICTを活用した、今日求められている「個別最適な学び」と「協働的な学び」の様子を観覧いただきました。小学校では全クラスにおいて、教科や教育活動の様々な場面でICTを有効に活用して充実した学びと活動を展開しています。



教員研修会WG

オンラインによる「スキルアップ講座+（プラス）」と称する研修会を開催しています。これは、附属学校の教員が授業の様子を公開してその後に行われる研究討議を通して、県内外の教員の日々の指導技術の向上に役立ててもらうことを目的として実施しています。小学校では年度内に3回開催しました。8月12日(土)は国語科・社会科、1月11日(土)は体育科・生活科・道徳科、3月1日(土)は算数科・理科の教員がそれぞれの学級での授業を公開しました。毎回どの教科にも大勢の方の参加をいただき熱心な議論が交わされています。本校の教育実践が多くの教育関係者の皆様の発展に寄与できることを喜びとして、今後も職員一同、研鑽を積んでまいりたいと思います。



幼小接続WG

「架け橋期」(5歳児から小学校1年生までの2年間)の教育の充実を目指して、幼稚園と小学校の1学年担任及び大学教員が連携して研究や実践に取り組んでいます。具体的には地域の現場で求められている「接続カリキュラム」の作成や交流活動などに取り組んでいます。小学校では生活科を中心に園児との交流活動を行っています。「ピカ1楽しみ祭り」では、1年生が企画運営するお祭りに園児を招待しました。どんぐり掬いや迷路、割りばしゴム鉄砲などのお店を1年生と園児がペアになって巡って遊び、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。2月14日(金)には園児の小学校への1日入学が行われました。幼稚園から小学校への生活が円滑に進み、子供たちが楽しく小学校生活を送ることができるようになってほしいと願っています。



「とびだす」

地域支援事業として、附属学校園の教員が公立学校等の校内研究会に赴き、研究会における指導助言を行ったり、研修会の講師を務めたりしています。今年度、小学校では9校、11名の教員を派遣しました。それぞれの教員は各教科で培った知見をもとに、参観した授業の良さを伝えたり、改善のための具体的なアドバイスを行ったり、各教科で必要とされる見方や考え方を伝えたりするなど、訪問する学校のより充実した研究活動の実現のために尽力しています。



中学校

職場体験

キャリア教育の充実と生徒の将来を見据えた進路選択のために、2年生では今年から初めて職場体験実習に関わる職業ガイダンスと職場体験実習を2日に分けて実施しました。職場ガイダンスでは県内から5社（エフエム富士、甲府信用金庫、東京ガス山梨、早野組、YSK e-com）の企業様にお集まりいただき、赤レンガ館で企業説明や、その職業に必要なこと、企業でのSDGsへの取り組みなどをご紹介いただきました。生徒からも多くの質問が出され、様々な職業について知識を持つことができました。



さらにこの5社から興味のある企業を選び、実際に職場体験実習を行いました。ラジオに出演したり、たくさんのお金を触ったり、ドローンを操作させていただくなど、学校では体験ができない様々な実習を行いました。生徒は「人はなぜ働くのか」ということについて真摯に向き合い、考えることで自身の今後の進路選択に生かすことができたと思います。



生き方を学ぶ

10月29日、お笑い芸人でありながら、大学講師や報道番組のコメンテーター、観光大使などで活躍するバックンマックン氏を講師としてお招きし、キャリア教育講演会兼PTA四委員会合同講演会を行いました。「自分を動かす、人を動かす、世界を動かす」を演題に笑いを交えながらコミュニケーションの大切さや3つの秘訣「Ethos（人格）、Pathos（感情）、Logos（言葉）」を教えてくださいました。



自分を動かすことで人が動き、人を動かすことで世界が動く。まずは何事にも挑戦する！

これからの将来を担っていく生徒のみなさんにとって今後の自分の生き方を深く考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



卒業研究発表会

2月14日、3学年は卒業研究発表会を行いました。本校では、総合的な学習の時間を「Search（探究）」「Experience（体験）、Enjoy（楽しむ）」「Life planning（生き方）」「(with) Friends（協力・協働）」の頭文字をとって「SELF」と呼び、1年生から3年生までの3年間、探究学習を続けています。知識を得るだけでなく、学び方も学ぶSELFの学習をとおして、生徒たちは課題解決能力を身につけます。これまで、「ふるさと山梨と私たち」、「22世紀に残したい日本の〇〇」といったテーマを設け、自分たちが生活する地域から、山梨、日本へと対象を広げ、個人や小グループで探究学習に取り組んできました。

3年次は、卒業研究に取り組みました。卒業研究発表当日は、仲間や保護者の方に見守られながら、自らの興味・関心に基づいて設定した探究課題について、レジュメやスライドなどを用いながら、探究学習の成果を発表しました。どの発表からも、3年間で積み上げてきた学習の成果が出ており、質の高い発表会となりました。

高校でも附属中学校のSELFで身につけた探究学習のノウハウを存分に発揮して、学びを深めていってほしいと思います。

